

ワクチン接種 が始まります

世界的な流行を見せ、いまだに収束が見えない新型コロナウイルス感染症。今号では、目に見えないウイルスの特徴と予防対策方法を再確認し、4月20日時点での八幡平市新型コロナウイルスワクチン予防接種情報をお伝えします。

◎新型コロナウイルスとは

新型コロナウイルス感染症は、新種のコロナウイルスにより引き起こされる感染症です。3月31日時点で確認されている世界の累計感染者数は1億2千900万人で、国内の累計感染者数は47万5千人、岩手県では621人の感染が確認されています。

■緊急事態宣言

感染拡大を防ごうと、国は令和

ター(集団)感染のリスクが高く、避けるべきとされています。

①換気の悪い密閉空間

②多くの人が集まる密集場所

③間近で会話や発声がある密接場面

新型コロナウイルスは、健康な皮膚には入り込むことができません、表面に付着するだけと言われ、飛沫感染(感染者のくしゃみや咳などで放出されるウイルスを吸い込むことなど)による感染や接触感染(ウイルスが付着した手指で目や口、鼻などの粘膜を触ることによる感染)などで感



2年4月7日に7都府県へ1回目の緊急事態宣言を发出。4月16日には全都道府県へ拡大し、5月25日に解除されました。2回目の宣言は令和3年1月8日から3月21日まで11都府県を対象に发出されました。

■市の取り組み

市は、関係機関との情報共有のため、令和2年2月17日に第1回市新型コロナウイルス感染症対策連絡会議を開催。その後、令和3年3月24日の市新型コロナウイルス感染症対

染すると考えられています。

■感染対策は基本が大事

こまめな手洗いや普段の健康管理、適度な湿度を保つなど、一般的な感染対策をすることが重要です。日常生活からマスクを着用し、咳やくしゃみが出るときは、ティッシュやハンカチ、袖などを使って口や鼻を押さえるなどの咳エチケットを心掛けましょう。

■発熱などの症状が出たら

発熱など、新型コロナウイルスの感染を疑う症状が出た場合は、まずはかかりつけ医などに電話で相談しましょう。かかりつけ医が居ない人やこの医療機関に相談すればいいか迷う人は、24時間受け付けの県受診・相談センター(☎019・651・3175)に相談しましょう。

■予防接種が受けられます

予防接種とは、体の持つ免疫の仕組みを使い、ワクチンを接種することでウイルスへの抵抗力をあらかじめ強くしておくことをいいます。ワクチンを使い、体内に人工的な疑似感染の状態をつくりだすことで、免疫に病原体の特徴を覚えさせます。実際に、病原体が



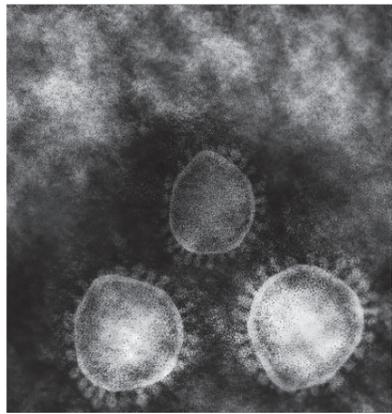
策本部会議の開催を含む計5回の連絡会議と19回の対策本部会議を開いています。

また、市民へのワクチン接種を円滑かつ迅速に行うため、令和3年2月1日に新型コロナウイルスワクチン接種対策室を立ち上げています。

◎ウイルスから身を守る

■3密に注意

次の①から③までの「3つの密」が同時に重なる条件下では、クラス



体に侵入する前に、ワクチン接種で免疫の予行演習を済ませておくことで、病原体に負けないように備えるものです。

現在、国内の高齢者接種で使用されるファイザー社のワクチンには、発症を防ぐ効果が95%近くあることが海外の臨床試験結果で判明しており、確立された治療法がない中で効果を期待されています。

■予防接種後もマスクは必要

予防接種後も、マスク着用は必要です。新型コロナウイルスワクチンは発症や重症化を防ぐ効果があるものの、ワクチンを接種した人から他の人への感染をどの程度予防できるかはまだわかっていません。引き続き、感染予防対策をすることが必要です。

正しく手洗い・うがいをしましょう

感染症対策の基本は手洗い・うがいです。正しい方法で、しっかりウイルスを洗い流しましょう。

◆手洗い

帰宅時やトイレ後、食事や料理の前に、次の6部位を30秒程度かけて洗きましょう。

1. 手のひら



手を合わせ、こすり合わせる

2. 手の甲



手のひらで手の甲を伸ばすように

3. 指先と爪



指先で手のひらをこするように

4. 指と指の間



両手を組み、指の間を洗う

5. 親指



親指を握り、手のひらをねじるように

6. 手首



手首を握り、まわしながら

◆うがい

ウイルスは空気中に紛れおり、知らない内に吸い込むことで喉の粘膜に付着します。帰宅などには必ずうがいをしましょう。うがい薬を使用すると、一層効果的です。

①うがい薬を適量コップに入れ、正しい量の水を入れる ※水の量は、うがい薬により異なります。説明書を読み、正しい量の水で薄めてください。

②溶液を口に含み、少し強めにブクブクと口の中をゆすいで吐き出す

③溶液を口に含んで上を向き、15秒程度喉の奥までガラガラうがいをし、吐き出す(⑤を2回繰り返す)

ワクチン接種情報

◎ ワクチン接種

市は、できるだけ早く市民の皆さんへワクチン接種をできるよう準備を進めています。しかし、国から供給されるワクチン数量の見通しが立たず、安定供給を見込めないため、次の通り接種順位を決め、接種を進めます。

■ 接種順位

- ▼第1グループ 医療従事者など（医師・看護師・薬剤師・救急隊員など）
- ▼第2グループ
 - ① 高齢者施設の入所者
 - ② 令和3年度中に65歳以上になる人（昭和32年4月1日以前に生まれた人）
- ▼第3グループ
 - ① 基礎疾患を有する人

- ② 高齢者施設などの職員
- ③ 60歳から64歳までの人
- ▼第4グループ 第1から第3グループまでに該当しない人（16歳以上）

■ ワクチン接種のスケジュール

4月中旬から、65歳以上の高齢者用のワクチンが市に供給されています。第1弾の供給数は975回分で、前述した接種順位の通り、第2グループ①の対象者から接種が始まります。その他の高齢者接種対象者には、4月下旬に接種券（クーポン券）を個別郵送し、5月中旬から接種を受けられるように準備を進めています。なお、64歳以下のワクチン供給日や供給量が決まり次第、接種券を個別郵送するほか、広報や市ウェブサイトなどでお知らせします。

新型コロナウイルスワクチン接種



出典：厚生労働省

- Q 必ず受けるものですか。**
A 予防接種は強制ではありません。本人の同意がある場合に接種をします。
- Q 副反応にはどんなものがありますか。**
A 接種後の注射部分の痛み・疲労、頭痛、筋肉痛や関節痛などです。まれにアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生すると報告されています。年齢を問わず、接種部位の痛みが最も多く報告されています。
- Q 予防接種を受けることができない人はどのような人ですか。**
A 次の人は受けることができません。▼明らかに発熱している（37.5度以上）▼重い急性疾患にかかっている▼ワクチンの成分に対して重い過敏症の既往歴がある。※現在何らかの病気で治療中の人や、重いアレルギー症状が出たことのある人は注意が必要な場合があります。かかりつけ医などに接種を受けてよいか相談してください。
- Q 接種は何回受けますか。**
A 2回です。なお、2回接種した後の接種券は、接種済証になるの

- Q 接種当日は何を持っていけばいいですか。**
A 接種券と予診票、本人確認書類（健康保険証や運転免許証など）、お薬手帳（持っている人のみ）を持参してください。
- Q 接種はどんな服装で行けばいいですか。**
A マスクを着用し、すぐに肩を出せる状態（Tシャツなど）になれる服装で来場してください。予防接種は上腕への筋肉注射で行います。
- Q 予防接種当日はどんな流れで進みますか。**
A ①受け付け ②予診票確認（予診票は事前に記入を済ませてください） ③問診 ④接種 ⑤接種券に接種済みを確認するシールを貼ってもらう ⑥副反応に備え、必ず会場で15分以上待機する
- Q 接種後の注意はありますか。**
A 接種部位は清潔に保つよう心掛けてください。できるだけ接種当日・翌日に無理をしないで済むように予定を立てることを勧めます。

ワクチン接種の流れ

- 1 接種券が届く**
4月下旬から、順次対象者に個別郵送をします。予診票やお知らせなども同封しますので、目を通してください。
- 2 予約する**
電話（平日午前9時から午後5時まで受け付け）やインターネットから予約してください。※予約には接種券番号が必要です。
- 3 接種を受ける**
特設会場（市役所多目的ホール棟）や接種実施医療機関で接種できます。詳しくは同封の案内を確認してください。



個別郵送される封筒と接種券の見本

各種問い合わせ先

- 八幡平市でのワクチン接種に関する相談（受付時間：土・日・祝日を除く午前8時半から午後5時15分まで）
市新型コロナウイルスワクチン接種対策室（☎74-2111）
- 医学的知見が必要な専門的な相談（受付時間：午前9時から午後9時まで）
県新型コロナワクチン専門相談コールセンター（☎0120-89-5670）
- 新型コロナワクチン全般に関する相談（受付時間：午前9時から午後9時まで）
厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター（☎0120-761-770）

行政をかたる 詐欺に注意

- ◎ワクチン接種は無料です！
接種を受ける際の費用負担は一切ありません。
- ◎電話・メールで個人情報を求めることはありません！
接種のお知らせは個別に郵送します。電話などで聞き出すことはありません。